資料５－２

社会福祉事業団による更生園保護者説明会（県障害福祉課同席）における主な意見

（H26.1.26）

○利用者がどういう支援を受けているか、改善されるまで現場を何度も見てほしい。現場を見て、利用者の視点に立って、保護者の意見を聞かないと問題は解決できない。

○職員が辞めてしまったら利用者はどうなるのか。園の責任者はこれからも一生懸命やってもらいたい。辞めるのであれば、虐待がなくなるような指導をしてから辞めてもらいたい。

○ベテランが給料のいい他の施設に行ってしまい、３０代、４０代がいなくなったのではないか。他施設との給料の違いに問題はないか。

○指定管理者制度になった時、４０％くらいが契約社員になった。利用者は障害の重い人が増える一方で、支援員は契約社員が増えていることが、今回の事件と関係があるのではないか。

○虐待のチェックシートがあれば職員の助けになる。マニュアルを県で整備してほしい。それが、利用者や支援者を守ることになる。

○組織は競争原理と風通し。保護者が足しげく通って職員と話すことで風通しが良くなる。競争原理については、一つの施設だけではなくて、県内の他の施設といろんな支援方法を模索して、情報交換したりして、より良い支援方法を見つけてほしい。

○保護者はセンターに何か言うと施設を追い出されるのではという考えは捨てて、もっと自分の子をよく見て、ことが小さいうちにセンターと話し合っていくべき。

○なぜ報道されたあそこに入れているのかと言われ、まるで無責任な親のような目でみられることがあり辛い。

○就職先がないから介護（障害福祉）でもしようかという気持ちでやってほしくない。３か月以上やってみて、やれないなら辞めてほしい。保護者は見てくれているのはありがたいが、暴力振るってまで見てほしいとは誰も思っていない。

○家族会の名簿はこれまでなく、すべて園にお任せだった。名簿をつくって家族会独自で総会や研修会を行うことも考えたい。